

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子炉施設（STACY（定常臨界実験装置）施設）の変更に係る設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング（2）
2. 日時：令和5年11月15日（水）16時00分～16時32分
3. 場所：原子力規制庁16階B会議室（対面及びTV会議により実施）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
荒川安全管理調査官、伊藤主任安全審査官、島村主任安全審査官、
小舞管理官補佐、澁谷安全審査専門職、三好技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 臨界ホット試験技術部 次長 他2名
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部
施設保安管理課 主査 他1名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
資料1：STACY 設工認（第3回申請）の変更について（資料 ST-2-1）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	それではステージの方針の変更に関連するヒアリング、2回目ということで、
0:00:10	よろしくお願いいたします。
0:00:13	はい。では資料作成いただきましたので、定修からご説明をお願いします。
0:00:20	菱田です。本日はどうもありがとうございます。今回はヒアリングコメントいただいた件について、補正準備、説明しておりますので、
0:00:30	内容ヒアリングの回答について回答をいただきたいということで本日資料A、Bの2-1、ございます。サポーター学校は、ぜひ話をしながら見ていただき、
0:00:51	すいません。
0:00:55	あと、
0:00:56	はい。添付 8 日ヒアリングいただいたコメントですね、参考の方に 3 点書かせていただいておりますけれども。
0:01:05	まず、
0:01:08	性能検査の点ということで、まず田窪検査と原子力医師余裕検査について、降水量死んで実施することを期待すると、
0:01:19	また、事前解析は保守的な方針、保守的になるように行っているということを明記するというございます。
0:01:27	それから二つ目として同じ検査のところですけども、原子炉停止余裕検査とワンロードスタックマージン検査がそれぞれ異なる炉心を選択した場合はワークマンの方が、
0:01:37	基本厳しくなりますのでワンロードスタックマージンの検査で行うということ、
0:01:42	それからT-Cの工事工程表について当初はですね、大手ストーリーツアーを、
0:01:48	準備が総体的な日付でしたけれども、現状を反映した絶対的な時間になっていう感じで。
0:01:57	内容について簡単にご説明いたしますけれども、資料FTの2-1。
0:02:02	資料。
0:02:06	こうしたのが、6 ページ。
0:02:13	井坂の仮定になっているところは、もうこれは書き加えるということですけども、ここに黄色くマーキングしてあるのが前回ヒアリングコメントを受けて、書き足すと変更する。
0:02:27	まずは安東さんと同じ方でご指摘の評価結果替えられるように、解析を行うということ、明記することと、バーガー、
0:02:38	公務員のらしいんですね、90 から 140 円において検査を行うということ、かけます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:44	それから、B原子炉停止中本社の方でも同じことを聞きますけれども、ただし書きとして、バローズ佐久間検査とK1の定修、検討用地震行ったらワンロードスタックマージン検査を申請を行いますということ。
0:03:01	それから3点目ですけれども、
0:03:09	工程表8ページ、
0:03:11	ご覧になっていただきますと、
0:03:14	相対的な日付ではなくても全体的な日付にいたしまして、当初の委員会から、今の予定が未来も含めて、各委員会、
0:03:25	おります。スケジュールが絶対府県があった以外は、
0:03:30	中身自体は変わらないかもしれない。
0:03:34	簡単ですけれども、変更の内容についてはいいです。
0:03:40	はい。ご説明ありがとうございました。
0:03:44	このスライド資料の6ページのところがあるかと思えますけれども、こちらでお願いしていたのは、
0:03:54	形状という考え方から、事前の計算っていうのは、保守的な評価結果が選べるように、
0:04:03	具体的に言うと、安全は大きさを少し小さく見積もったりとか、そういうこと等が含まれているので、その趣旨を表して欲しいということと、
0:04:16	受験炉心については、その選び方の提示については、中性子増倍率が高くなったというところで、読めるんですけども、すでに予定で暴れたとしても同意したということについても、
0:04:29	少し具体的な内容が掃気できるような内容を、
0:04:35	入れてください。補正ということで、講習をする括弧90から140センチメートルと、技術を使え、加えていただきました。
0:04:44	あと、満足と
0:04:46	各マージン検査等減少停止余裕、検査が違った場合に、
0:04:52	負け計算の結果を求める厳しいが違った場合に、どちらを優先するのかっていうことについて、重要度があるような書き方になってましたので、
0:05:03	おそらくワンロードスタックマージン
0:05:06	の炉心のほうが厳しいということから、そちらが、
0:05:10	間内に選ばれるように変えたいということで、現在の6ページのような記載になっておりますけれども、これについて、
0:05:19	何か規制庁側からコメントございますでしょうか。
0:05:27	例えば、放水括弧90×140センチメートルと書いてますけど、この90から140が、水位だというのは、この表記で。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:38	読めるということでよろしいでしょうか。規制庁側に聞いてますけど。
0:05:45	この臨界Cってことですね。
0:05:48	福井行為水を審議(9)10万140センチメートル括弧閉じになってますけど、この90から140センチメートルっていうのは、この委員会水を表してる。
0:05:58	いうことが、
0:06:00	この表現で、うん。
0:06:02	一般的に、
0:06:04	わかるかということについていかがでしょうか、コメントまでお願いします。
0:06:08	ミヨシですけど、これで理解できる
0:06:15	あとは、
0:06:17	最後のワンロッドスタックマージン検査と原子炉停止の規制検査で炉心が異なる場合は、ワンロッドスタックバージン検査の方針で行う。
0:06:27	理由兵庫県、
0:06:29	これは、
0:06:30	実が取れますでしょうか。
0:06:33	事情がわかってればぱっと読んでわかるような気がしますけど、どうでしょうか。
0:06:54	もし直したほうが良いということであれば、修正案を合わせて、ご提案いただければと思いますがいかがでしょうか。
0:07:17	三吉ですけど、大体意味取れるんじゃないかと思っております。
0:07:24	ありがとうございます。
0:07:26	そうすると、前回のコメントはほとんど6ページの修正に集中していただきたいと思いますけども、この6ページは、
0:07:34	次という理解でよろしいでしょうか。
0:07:41	あと、工事計画の変更の部分の記載の変更についてのお話もありましたけども、全体を通して何かコメントがあればお願いいたします。
0:07:57	はい。
0:07:58	特にないようでしたら、とりあえず、これからとしては、
0:08:04	技術的な論点は、ないだろうと。
0:08:11	うん。
0:08:12	仮に審査会合を開いても、
0:08:14	ディスカッションすることは、
0:08:17	なさそうな感じですよというのを、我々が上に上げていくと、
0:08:23	いう形に
0:08:28	何か補足の説明があればお願いします。
0:08:43	ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:45	変更に関しての手続きのところでお話したけど我々も、この変更。
0:08:50	進化申請を受けるの四、五年ぶりぐらいになっておりまして、
0:08:54	ちょっと、そういう状況もあって上で上げていく中で、我々としては、新しい堺もなくとも、技術的なのではなさそうだったという話をするんですけども、どっかで柳瀬中居コバヤシ事務長っていう、
0:09:06	話が終わってくる可能性があるんで、その場合はこの資料って、説明は 30 分ぐらい考えるんで。
0:09:13	する可能性はありますということですねそれぐらいしかちょっと今聞いていることはございませんけども。
0:09:20	基本方針に関するお話は以上ということで、一般進めさせていただきます。ちょっと駒井さん、同様のお話をずっとされてきたこと。
0:09:30	ベベルも道新の方でちょっと東が書いてる審査書ご覧になって、ちょっとコメントがあるということで出席されており、
0:09:39	すいません建設部門。
0:09:46	ちょっと今日の、これは 1 回、6 月、これはここまでは 6 月でこっからは、
0:09:55	この話が終わるまで録音します。ちょっと今日の
0:10:01	基本方針の話からちょっと変わってしまうんですけども。
0:10:06	模擬炉心でさ、今資料でも出ますが、申請書の資料、川上です。先ほど抜けたやつで、
0:10:18	はい。すいません。ちょっと教えていただきたいことが、
0:10:21	ございます。
0:10:24	廃止いたします。
0:10:35	あ、すいません。
0:10:39	ちょっとお手元に、もしかしたらないかもしれない。
0:10:49	すいません。ですね、こちらの方ですね。
0:10:56	耐震の、
0:10:57	強度計算書っていうのちょっと、
0:11:00	受けまして、
0:11:03	進めても得ない方、はい。
0:11:06	林の話を始めます。
0:11:09	そうですねはい。電子版を、
0:11:11	はい。栗田。とりあえず、はい。そうですね紙でちょっとお話ししますんで。
0:11:17	ちょっと教えていただきたい。
0:11:20	はい。
0:11:23	てんの。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:24	ダッシュの1'の1。
0:11:28	ていうところに、
0:11:31	まず、2ポツに基本方針。
0:11:35	ていうのはございまして、
0:11:38	このパラグラフの、
0:11:40	一番下なんですけれども。
0:11:42	なお、
0:11:43	デブリ構造材。
0:11:46	茂木田井。
0:11:48	編年上、
0:11:50	資料挿入管及び、
0:11:53	内挿管は維持構造物に、
0:11:57	固定されていないため、点、
0:12:00	共振する恐れはないと。
0:12:02	あると、ちょっと書かれています。
0:12:05	この、
0:12:09	耐震クラスBクラス。
0:12:11	ということで、我々の
0:12:15	基準上はですね、Bクラスっていうのは、Cクラスと違って、
0:12:21	共振の影響があるのかなのか、っていうのを見なさいということになってますので、そういった点で、ちょっと確認さ、教えていただきたいという確認をさせていただきたいと。
0:12:33	いうところなんですけれども。
0:12:35	このですね、固定、
0:12:37	されていないため共振する恐れはないっていうこのですね。はい。ちょっとイトウがですね、ちょっとよくわからなくて、できればその説明はですね。はい。
0:12:50	ちょっと対追加というか、
0:12:53	まとめ資料的なものでもいいので、追加していただきたいなというふうに思ってますんで、皆さんもちょっとご存知のように、成果はですね、
0:13:05	耐震、昔いう耐震計算書っていうのは、もうBCクラスは見ない。
0:13:10	ご存知だと思うんですけども。
0:13:13	なので
0:13:14	こいう、どういつけ方をするのかっていうのは、
0:13:17	あるかもしれません。まとめ資料的なものというか、物な位置付けになるんだろう。
0:13:23	なんですけれども、そういった中でここなんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:28	固定されていないため、
0:13:30	共振する恐れはないということの意図をですね。
0:13:34	確認させていただきたいと。
0:13:37	思っていますんで、これ釈迦に説法だとは思うんですけども、共振する恐れがあるかないかっていうのはですね、どういう観点かっていうと、社会性方かもしれませんが
0:13:49	言いますと、まず地震が来ますと、建物が揺れますと、建物が揺れてその建物に、通常ですと、がっちり固定されてる形する陽気な。
0:14:02	流れちゃってですね、それが
0:14:04	言えますと、そのついてる今回のこういったものですけど、
0:14:12	固有周波数がですね、そういった建物の共振周波数と、大体合ってしまうとですね、非常に拡大されます。皆さんご存知のように、軽水炉はこれで困って、
0:14:24	そうですね。例えば 10 倍とかですね、それ 20 倍とかですね。
0:14:28	何十時っていう地下、そういうのが共振の。
0:14:32	ことなんですけども、そういった共振の恐れがない。
0:14:36	書いてあるんですけども、そういったもので考えなくていいんだよというところをですね、ちょっと事実関係として教えていただきたいと。
0:14:46	ですねこっからちょっと技術的な話になるので、はい。
0:14:53	ちょっとわからなかったら言っていただきたいんですけども。
0:14:55	えっとですね普通ですね、
0:14:58	機器っていうのは、
0:15:01	建屋があって、原子炉容器が、
0:15:03	ばあさん連通口、
0:15:05	何か
0:15:06	完全高野って大体 5 体で、5 に接続するというのは原子力の世界って一般的なんですけど。
0:15:14	ただ、とはいえですね、必ずしもそうではない完璧に 5 人でできないことがあるので、そういったところをどう考えるのかなっていうところだと思います。
0:15:24	一番ちょっと気になったのはですね、ステージの場合は、いた。
0:15:30	大鳴があって、燃料がですね、常駐系っていうかですね交差させるがいいですか。笹井。
0:15:40	下でカジュン。
0:15:43	地震があるとですね、これくらい、当然揺れるんだらうと思います。
0:15:48	どういうれるのかっていうのは

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:51	その要件をさらにどう固定してるかっていうのを見よってしまうので、そこは実は当初ですね、金曜日、ステージ 3、お伺いさせていただきます、しっかり見て、私だけでも見てくれ。
0:16:06	思ってるんだけど、やっぱこう振動しますと、
0:16:09	そういった時にですね、丹のところに穴が開いてるわけなんですけど、clearす。
0:16:15	ていうか、隙間って言ったらいいんですかね。はい。ここはですね、ファン、
0:16:20	かなり狭かつ、狭いってうかですか、かつちりな言葉で表現難しいんですけど。
0:16:28	そういうのがあるとですね、
0:16:30	地震動ってのがやっぱり伝わってしまう。
0:16:34	いうふうを考えてます。
0:16:35	で、そういったところで、
0:16:37	ここに書かれているですね。はい。固定されていないため、標準する必要はないっていうこの意図をですね、ちょっと私の企業も一定現場見させていただきますけれど、
0:16:48	ちょっと意図はちょっと確認させていただきたいということです。
0:16:53	実は私で計算を移しまして、Bクラス地震度っていうのは、大体コンマ 36、
0:16:59	宇野新藤っていうことで、考え、
0:17:02	私ごめんなさいstageさんの建物も全然知らなくて今度企業に行くんですけども、
0:17:08	企業みたいにさせていただきますと建物の状況もわからない方が適切なこと言ってますけれど、建物がですね、揺れますと、Bクラス地震動だろうとこんな山ろくの審査です。
0:17:20	具体的に、コンマ 36Gというか、一次救急は、
0:17:25	そういった形でかかるんですけども、
0:17:28	それをざっくり私計算すると、
0:17:30	結構揺れるん。
0:17:33	建物、
0:17:36	結構つつつても、ミリですよ。
0:17:39	ミリなんですけど、動くということ。加速度的にはそう考えるんですが。
0:17:46	今ですねその隙間っていつて、
0:17:48	固定されてないってとこ入ってるっていうんですけど。
0:17:52	うん。さっき宮さんにもですね、その隙間ってどんぐらいあるんですかっていうのはちょっといろいろ聞いたんですけど、割とこう精米ということ聞いてましてね。はい。
0:18:05	そうすると、建屋がこう揺れる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:08	揺れ幅に対して、この隙間がですね。
0:18:12	例えばですけど、
0:18:14	すごいイメージ上で問題ないんですが、例えば、
0:18:17	ちょっと、
0:18:19	あなた、
0:18:21	そうなんですけれど、あなたってこれが燃料方法として、
0:18:25	この建物土地入れるんですね、これで菅馬場であれば、確かに。
0:18:31	もちろん揺れてもですね、こっちはもう、
0:18:34	平然と立ってるといことがいえるんですよ。
0:18:37	結構ユーザーんと、結構これ世代って聞いたんですね。
0:18:42	ねそれで考えると、これで計算すればすぐわかると思うんですけど。
0:18:46	結構こっち側の揺れとこのスクール、隙間の関係でいうと、この隙間が非常に狭いんじゃないのかなあとちょっと。
0:18:55	いう話がちょっと昨日宮さんと話をして、
0:18:58	そこはですね、この最後の行のところの考え方を、
0:19:04	ちょっとお聞きしたいなというふうに思ってます。
0:19:07	これは他社開放なんですけれども、もし仮にですね、その地震動はクリア狭いんで、伝わってしまうってことになると、
0:19:18	次に共振の影響を考えていいということを考えようとすると、この燃料棒のですねこういう周波数が 20Hz以上これ規格基準で決まっています。
0:19:28	2種Hz以上ということ言えばいいのかな。そ、多分二段階とは思うんですけども。
0:19:34	そういったところですねちょっと事実関係で、
0:19:37	確認させて。
0:19:38	いただきたいなというのがちょっと。
0:19:41	何かすいませんウェブからご参加の家の方とかでも、何か。
0:19:47	ここがわからないとか、
0:19:49	何かございましたら、或いは、こちら、
0:19:53	何かご質問とか、
0:19:56	私どもからしましたらば、完全に進藤は伝わらないかっていうと、
0:20:03	クリアランスは結構狭い、8000万ですね。そうですね。
0:20:07	まっすぐ立って、
0:20:10	永見さんなんかてさ、ちょっとすいません。すごい。
0:20:17	議論だけです。
0:20:19	原子力の相馬です。棒状燃料を柴野穴井さしますので、狭過ぎると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:30	丹 3 枚ものの工事はなかなか入らないというのがありまして、かといって広すぎると、今度は実験制度が取れないということで、絶妙なところの感想なんです。
0:20:44	その辺の感覚、その隙間の大きさというのは、これまで、STACYですとか、それから前身である、TCAという臨界実験装置があるんですけども。
0:20:56	そういったところから踏襲しておる寸法でありまして、これまで 40 年近く運転をして、しかもいろんな地震を経験します。うん。当然、
0:21:07	東日本大震災でも経験しておりますけれども、そういった振動共振によって燃料棒が破損するといったようなことはこれまでも市でもありません。
0:21:19	なのでまずはご安心いただきたいということと、
0:21:23	あと、防潮燃料自身もですね、耐震Cクラスなんです。そうね防潮燃料自身が、今回、デブリ構造体も着たり、
0:21:33	なんですけれども、多少材質は違うとはいえ、基本的には耐震Cクラスですね、溢水、そうするとですね、ちょっと、
0:21:44	私、もう誤解をちょっとしてたところがあるかもしれないので、ご回答いただきたいんですけども。
0:21:51	今おっしゃるのは、
0:21:54	耐震Bで見ればいいよっていう、やっぱまた、原子力もそうですが、炉心タンクと、それから格子盤は耐震Bクラス。
0:22:04	それで講師さんはね、あそこに挿す棒状燃料と、それからいろんな構造材に行ったりというのは、
0:22:18	5 年でした。はい。はい。
0:22:20	はいということでした、
0:22:24	ただ強制するかしらないかというのは耐震Bクラスの、
0:22:28	ものに、Cクラスのもの刺さっていて、
0:22:32	おはようございます。すいません。私も、その誤解あるといけないので、
0:22:38	ごめんなさいさっきのページの、
0:22:41	いらっしゃるところ。
0:22:46	プラスっていう、いやそれで、私も実は佐久間委員、実際一晩中悩んだんです。燃料自体はもう守りたいと思うんですけども。
0:22:58	同じ。
0:22:59	Bにするかなあとかって思いながら、Bクラスというクラスにするの損をするのかなとかをいろいろ悩みながら、もしかしたら椎野秋谷なのかもしれないとかですね、
0:23:10	すいませんで、私もいろんな可能性を考えながらちょっと今日、実はこの打ち合わせに参加させていただいたんですけども、その辺の関係をですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:22	現状感想です。はい。先ほど申し上げたことはすいません、間違いでしたので訂正いたします。
0:23:30	そうするリプラスになってるね。
0:23:37	なんでB。
0:23:40	これは、
0:23:41	ヶ所上、確か、
0:23:44	営業等買う。
0:23:46	うん。ていうふうに、
0:23:48	なってしまうんで、Bした。
0:24:03	そうします。
0:24:04	あんまり今調べていただいているから、ちょっとそれを開発しながらで申し訳ないんですけども、
0:24:11	STACYの北条燃料なんていうんすかねそのモニターではなくて、
0:24:18	通常の燃料、
0:24:20	Cだっていうことは上がってます。そうですね。はい。停止の方が強い。なるほど。了解です。
0:24:27	そうすると、
0:24:29	ただ普通、燃料がCで、今回新たに、その試験をするための模擬体ってのは鉄の方だったり計装管だったり、コンクリートを、
0:24:40	を詰めたようなものですから、それはそのBにした。
0:24:47	ふうん。
0:24:52	売れがわかっちゃったんですね、0.5。
0:24:58	そうか。元助教の宗ですが、棒状燃料だけではなくて、これデブリ構造材模擬体だけではなくて、
0:25:08	実験設備というくくりで、
0:25:12	まとめて耐震B断層、
0:25:20	データの、原子力のそうですが、
0:25:24	実験設備の中には、
0:25:26	こういう講習は何、地盤の方に、さすタイプのもので、それから固定するものがあります。固定するものは、やはり格子盤とか炉心タンクと、
0:25:39	もう一体型固定するので、同じ耐震クラスにしないといけないですね。なるほど。
0:25:45	その上で、防除講師坂野穴井さすのも、実験設備という範疇で。
0:25:53	耐震クラスはBにしているところはある。
0:25:57	なるほど。
0:26:02	原子力もそうですが、いずれにしても、はい。固定、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:08	されないことによって、その共振するのではないの。根拠。そうですね。はい。そこを説明するというので。そうですね。
0:26:17	ご説明。
0:26:20	ないと、ちょっと我々の審査書。
0:26:49	椎野もありますけど、元もあるけれど、これは何か燃料化して、相関式がいいっていう、
0:26:56	失礼だけど、変わった感じが。いや、私ね、私、ちょっと昨日もちょっとないですけど。
0:27:03	何ですか。本間の燃料として、
0:27:06	ステージのその基本らしい。
0:27:09	いわゆる燃料、
0:27:10	これCだろうなと思って、ここにBって書いてあったんで、
0:27:16	どうするのかなという。いやなぜなぜかというですね、ちょっと理由だけ言っておきますと、
0:27:22	基本的に燃料集合体っていうのは、正味です。
0:27:29	基本的にはですね。では、そういうところでタイ人ぐらいはそんな上げないだろうな。一般的には上げないんだ。
0:27:35	ただ今回Bだと言ってきてるんで、
0:27:38	Cクラスだったら、考えなくてよかった共振の影響を、我々の審査上南ざるをえないんです。
0:27:46	そうすると、その根拠というか、
0:27:50	結構、
0:27:52	キツキツで刺さってたりすると、
0:27:55	地震に対する、右が端的な。
0:27:58	で、
0:27:59	側側だったらオッケーですけど、その代わりに、右とか3がもうそもそもラインノミナル値ですけども、柴野が言って、8、
0:28:10	括弧書き。
0:28:13	959
0:28:14	そうすると、0.0. 95センチと、そうすつとさをいくと。
0:28:26	天井川で言うのは要は片側でコンマ15ですか。
0:28:31	そうすると、その建屋がどう診療するか、燃料費がどう振動するかっていうのの比率から考えると、もうほぼがっちり繋がってると。
0:28:41	見ざるをえないかなという感触ではですね、もちろん容器がどう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:47	建物が固定されてるかちょっと変わってきちゃうんで、これは一義的などとは言いませんけれど、
0:28:52	ちょっとそういうその辺のロジックだけがですね、ちょっとわからなかったので、
0:28:59	うん。ないですね。これは
0:29:02	がっちり固定されてるものではないので、
0:29:06	そう、そんなクリアランス通りなんですよ。
0:29:11	ほで、例えば具体名をちょっと言うんですね、京成はなんかは、配管が配管ってコース何%とかもうストレートってこう、
0:29:21	OKで荷重をさせない。
0:29:24	してますけれど、
0:29:25	これクリアランスあるんです、当たり前ですけど。
0:29:27	プラスあるんですけど、必ずそれは、
0:29:31	クリアランスある程度ちゃんと剛性を持って繋がっていることを前提に、配管系全体を耐震化してます。基本的な考え方は一緒だと。
0:29:41	そういうものは、いっぱいあるんで、
0:29:46	配管をですね、例えばその配管こうあって、
0:29:50	側方にこう支えてたりすると、これはさすがに、
0:29:57	固定してるとはちょっと見いだせないと思うんですけど普通そういう設計しないんですよ。だから古屋さん、ちょっとありますソーシャル施工できないんで。
0:30:05	そういう観点かなとはちょっと思って、当然縦横、違いますけど。
0:30:10	ちょっとそこはすごい気になったので。なるほどですね、最後の。
0:30:17	御説明です。
0:30:21	対抗策としてあれば、縁起だって決めて説明をすれば、
0:30:25	20、20Hz以上っていう説明をすれば、それからそれ以外、まだそれ以外でもまだありまして、例えばこういう周波数が、残念ながら20Hz以下だったとすると、
0:30:39	それでもちゃんと
0:30:41	だからこそそれなりの強度が終わりましてなきゃいけませんけれど、
0:30:46	当然そういう。
0:30:48	強制しちゃう。強制しちゃうんで。
0:30:51	当然それのみあった過剰評価っていう形になり、
0:30:56	だんだん難しくなってくる。順番からいうとそういう形であって、別にそれでストップアウトってわけじゃ全然ないので、考え方です。
0:31:06	そこがしっかりしていただけると。
0:31:08	多分、我々、
0:31:10	ちゃんと理解。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:12	いいと思うんだよ。
0:31:15	いえ。
0:31:16	ちゃんとステージ、
0:31:18	中身を見させていただいて、
0:31:20	確かにそうだなっていうのはちょっと今週金曜日力、これはなかった。はい。
0:31:25	以上です。
0:31:27	はい。原子力機構の曾根です。はい。今の点につきまして、説明して、まとめ資料のような形。そうですね。はい。
0:31:35	整えるようにいたします。はい。よろしく。
0:31:39	はい。
0:31:42	私から。わかりました。そこは、特にお伝えしたかったところですので。はい。ヒアリングは終わりにしたいと思います。どうもありがとうございます。ありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。